

2011年6月 西田智則様（アクター株式会社）

本日は訪問診療の同行をさせていただきました。普段では経験できないことを経験させていただきまして有難う御座いました。患者様には目線を落とし、明るく声をかけながら容体の確認、的確な指導し、ご家族に対しましては日々の生活スタイルを念入りに聞き取り、処方する薬の説明を行います。

どのご家族も先生のお越しを楽しみにされており、足音が聞こえただけでドアを開けていただける患者さまのご自宅も御座いました。

私は、訪問診療とは先生と患者という仲ではなく家族の一員みたいな存在なのではないかと感じました。最後に下川先生よりお話があった「患者様の負担を少しでも軽くさせてあげたい。またご家族の方より親身にお話を聞くことにより適切なアドバイスをする事ができる」。この言葉にはとてもたくさんの意味があり、私には印象的な言葉でした。